

守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第 2 回 学区別会議 [中洲学区]

平成 25 年 7 月 15 日（月）午後 8 時から中洲会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 2 回学区別会議を開催しました。

最初に「守山まるごと活性化プラン」の目指すもの、検討の進め方などについて事務局から説明がありました。その後、中洲学区にお住まいの住民 19 名、滋賀県立大学の濱崎先生や学生さんも一緒になって、「地域の特徴、良いところ」、「地域のたからもの」について話し合いが行われ、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：本城学区長より
- ②内容説明：プランの内容と検討方法、会議当日のプログラム内容
- ③テーブルに分かれて意見交換：『地域の特徴、良いところ』、
『地域のたからもの』さがし
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲テーブル毎に話し合いました

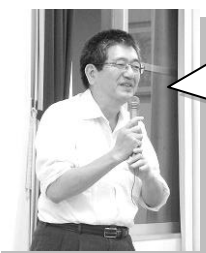
■本城学区長の挨拶（抜粋）

中洲学区のまちづくりにおいて以下の2つは外せない。①野洲川の伏流水が無くなっていること。水のないまちづくりはない。②野洲川河川敷の環境。上流では河川敷が公園化されたり綺麗になっている。中洲学区の河川敷では、我々の先祖の田畑を提供して放水路としたのに荒れ放題となっている。この2点を重視していきたい。



テーブル毎に中洲学区の『特徴、良いところ』、『たからもの』について話し合いました

- 5つのテーブルに分かれ、それぞれの『地域の特徴、良いところ』、そして『たからもの（今まで大事にしてきたものや文化、自慢できるものなど）』を話し合いました。
- 『地域の特徴や良いところ』で出てきた意見には、中洲学区に共通して、「地域へのつながりが強い」、「人柄と人間性が良い」、「お年寄りがとても元気」がありました。また、守山市の中でも少子高齢化が大きな問題になっている地域ですが、一方で 80 代でも現役で農作業などをする学区という意見もいただきました。
- 『たからもの』では、各地で野洲川の伏流水や湧水といった『水』にまつわる慣習や文化に関するものが多く出てきました。幸津川では昔、水路で汲んだ水と水路や琵琶湖で獲った魚で作るみそ汁（みそ茶）が農作業の合間に飲まれていたそうです。



■滋賀県立大学 濱崎先生のコメント

彦根の山村で茅葺きの葺き替えをやっているが、その地域ではまったく人手が無く学生等の手が必要。比べると中洲学区はこれだけ多くの人が集まってまちづくりの議論をしているのは素晴らしい。これからも学生と会議に参加するので、よろしくお願いします。